JATA幹部・訪韓ミッション

日本人旅行者数300万人の回復目指す
事態打開へ民間ベースで日韓協力を推進

JATAは2月4日から7日までの日程で、菊間潤吾会長を団長とするミッションを韓国へ派遣しました。韓国文化体育観光部、韓国観光公社（KTO）、韓国一般旅行業協会（KATA）などと協議を行い、2014年の訪韓日本人旅行者数を300万人まで回復させるため、両国の関係者が努力することなどを確認しています。ソウルでの公式行事の後、釜山と済州島でも視察や意見交換などを行いました。

今回の訪韓団は、昨年大きく落ち込んだ韓国への日本人旅行者の回復と2015年の日韓国交正常化50周年を見据え、韓国側の関係者らとの相互協力を深めることを目指したものです。訪韓団には、韓国旅行の販売に決定権を持ち、実際に販売に関わっている大手旅行会社の経営幹部をはじめ、海外旅行担当役員、JATA・KATA観光WGのメンバーなど18人が参加。韓国側の観光関係者との協議だけにとどまらず、ソウルや釜山、済州島の行政関係者などとも意見交換を行いました。

ソウル特別市のパク市長を囲む訪韓ミッションの一行

歓迎ムードの醸成を韓国側に要望
日本側は韓国キャンペーンの実施展開へ

日韓双方による協議や意見交換の結果、(1)2014年は前年より1割多い300万人の訪韓日本人旅行者を送客できるよう、両国関係者が努力する、(2)韓国側で国や行政のトップが日本人旅行者を歓迎するメッセージを発信して歓迎ムードを作ると同時に、ショッピングクーポンなどの具体的な歓迎策を講じることについて前向きに検討する、(3)日本側ではKTOと協力し、訪韓団に参加した旅行会社をはじめJATA会員各社が早期に韓国キャンペーンを実施して旅行需要の喚起を図る、(4)韓流や韓国エステに代わる新しいコンテンツや韓国でしか体験できない旅行商品素材を開発し、韓国の新たな魅力を伝えられるような商品企画に向けた具体的な取り組みを行う、といった事項について合意・確認しています。

JATA・KATA 意見交換会で発言するヤン KATA 会長（右）

また、JATAとKATAは、消費者ニーズにあった商品や地方都市観光の商品、付加価値の高い商品などの造成を行い、新たに魅力ある商品を開発していくことでも合意しました。

菊間会長、ソウル市長とも会談

さらに、2月5日午後に行われたソウル特別市のパク・ウォンスン市長への表敬訪問で、同市長は「日韓両国の交流が大切であり、多くの日本人観光客に来ていただきたい」と語り、「楽しく感動できる旅行を提供できるよう、新しい観光スポットや地域の開発、お勧めのプログラム提供などを実現するため、JATAとの共同マーケティングも実施したい」と意欲を示しています。

ソウル特別市のパク市長（左）に記念品を手渡す菊間会長

これに対して、菊間会長は「韓国の各地の行政やKATAとの意見交換を通じて事態の改善を図りたいと考えており、熱いご支援をお願いしたい」と伝えました。

JATA・KATA意見交換会では、KATAのヤン・ムスン会長が「訪韓日本人旅行者数の減少が続けば、日本各地と韓国を結ぶ航空路線での輸送力も小さくなってしまうという悪循環に陥る」と懸念を表明し、「韓国向け旅行商品の販売にも力を入れてもらい、両国間の交流活発化に努めてほしい」と要請。菊間会長は「現在のムードを変えられるのは、われわれ旅行会社しかない。今年度を昨年度と違う年にするため、政府に頼らず民間の力で事態を打開したい」と応じています。

2013年の日本人出国者数は前年比5・5％減の1747万人（法務省速報値）にとどまりましたが、韓国観光公社によると、韓国を訪れた日本人旅行者数は同21・9％減の275万人まで落ち込んでいます。

JATAでは昨年11月、こうした事態の改善に向けて、韓国一般旅行業協会とJATA・KATA観光促進ワーキンググループ（WG）を発足させ、KTOの協力により韓国への旅行需要の回復策を協議してきました。

④ブダペストから、空路シェンゲン協定実施国を経て帰国する場合も、免税手続きはブダペストで行う。 これ正しい？

和歌山市でJATA役員会開催
各支部長と意見交換や関西観光関係者とも交流

JATAは2月10日、和歌山市のダイワロイネットホテル和歌山でJATA役員会を開催しました。今回は、全国旅行業協会（ANTA）主催による「第10回国内観光活性化フォーラムin和歌山」に合わせて役員会を開くと同時に、役員と各支部長との意見交換会と、関西観光関係者との交流会も実施しています。

各支部長との意見交換会では、各支部長が、（1）会員企業の社員向け研修やネットワーク強化、（2）地域の観光施策と連携した海外・国内・訪日旅行の活性化など、ツーウェイ・ツーリズムを基本とする事業の強化、を要請。JATA本部からは、今年9月に開催される第1回ツーリズムEXPOジャパンの成功に向け、これまで以上に本部と支部が連携して「オールJATA」「オールジャパン」で企画・運営できるよう協力を求めました。

関西観光関係者との交流会には、近畿運輸局の大久保仁局長をはじめとする同運輸局の担当者、兵庫・滋賀・和歌山の各県から観光担当者、新関西国際空港株式会社の福島伸一会長と安藤圭一社長、春田謙副社長らが参加しました。

菊間会長が国内観光活性化フォーラムで登壇

JATAの菊間潤吾会長は2月11日、国内観光活性化フォーラムにパネリストとして登壇しました。

「観光振興と未来の創造」をテーマに掲げたパネルディスカッションで、菊間会長は、アジアにおける観光交流拡大の意義やツーリズムEXPOジャパンの開催などについて説明しました。

台湾で総合旅程管理「海外実地研修」を実施

JATA研修・試験部は1月21日から24日まで、2014年度総合旅程管理「海外実地研修」を台湾で実施しました。

東京・名古屋・大阪・福岡・沖縄発の5コースで行われた実地研修には、総合旅程管理研修を修了した受講者及び受講予定者26人が参加し、実務経験を体験しました。

参加者からは「他人の添乗業務を見ることで、自分のスキルを確認できた」「少人数で1日の添乗を行う内容は、将来の添乗業務に向け心強いものだった」などの感想が寄せられました。

台北桃園国際空港でブリーフィングを受ける実地研修の参加者ら

平成26年度「総合旅行業務取扱管理者研修」の開催について
（総合旅行業務取扱管理者試験で科目一部免除を受けるための研修）

1.受講資格・受付方法・研修内容等の詳細は当協会ホームページ掲載の「受講案内」でご確認ください。
http://www.jata-netor.jp/seminar/training/guide/pdf/h26_kanrisya.pdf

2.受講願書受付

(1)窓口受付
◇期間：平成26年4月2日（水）と3日（木）の2日間
10時から17時まで（12時から13時を除く）
◇場所：一般社団法人日本旅行業協会本部事務局

(2)郵送受付
◇期間：平成26年4月3日（木）までの消印があるものに限り受け付けます
◇送付先：〒100―0013 東京都千代田区霞が関3―3―3 全日通霞が関ビル 一般社団法人日本旅行業協会 研修・試験部 管理者研修受付係
※受講願書は簡易書留で郵送してください。

クルーズ販売に必要な知識が習得できる！
売り上げUPに貢献できる！ 受講料無料！

PRINCESS CRUISES

e-ラーニング・システム
NEWS!
プリンセス・アカデミー開講中

①第1レベル「ファースト・オフィサー」取得者110名突破！ ②第2レベル「スタッフ・キャプテン」オープン！

お問い合わせ
株式会社カーニバル・ジャパン
観光庁長官登録旅行業第1942号
〒104-0061 東京都中央区銀座6-2-1 Daiwa銀座ビル6F
TEL：(03)3573-3610 FAX：(03)3573-3607
supportjapan@carnivaljapan.com http://www.princesscruises.jp

⑤フォーミュラ・ワン（F-1）レースは、ハンガリーでも開催される。これ正しい？